



# プロバスだより

## 第194号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年 10月 18日

創立 15年余、会員の努力で培ってきた叡智を、

編集・発行：情報委員会

2011～12年度テーマ

次のステージで躍進の糧としよう

### 第194回例会・臨時総会

日 時：平成 23年 12月 8日(木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：63名 欠席者7名 出席率 90.0%

(会員総数 70名 休会 0名)

#### 1. 開会 有泉例会委員長の司会で開会

本日の資料の紹介と出席状況報告があった。

本日は委員会ごとの席で、年末でもあり「ワンコインドリンクバー」も開設された。

#### 2. 会食・ハッピーコイン披露

佐々木会長からハッピーコイン（後掲 27件）の披露がありました。

#### 3. 臨時総会

司会より、本日は例会に先立ち臨時総会を開催する旨、報告があった。恒例により議長に佐々木会長が選出され、議長は会員総数の 90%の出席を確認し、総会の開会を宣言した。

議長は書記に高取和郎会員、議事録署名人に武田洋一郎会員、岡本宝蔵会員を指名し、以下の議案を審議した。

#### 議案 第 16 回生涯学習サロン特別会計予算(案)承認の件

議長は田中信昭地域奉仕委員長を指名し、議案の説明を求めた。

田中地域奉仕委員長は資料に基づき予算案を説明した。議長は以上の説明に対し議場に諮り質問・意見を求めたところ、渋谷文雄会員より次の意見が提案された。「このサロンは当クラブの看板事業であり市民からも高く評価されている内容である。いつも 4 択で構成されていて受講したくても受講できない事態がある。今回 4 回の開催が 3 回になっているが、3 択にして 4 回開催にす



ることで多くの方が受講できるのではないかと。今回のサロンには間に合わないかもしれないが今後を含め検討をお願いしたい。」議長は次年度サロンで検討することとし、本案につき採決を求め

たところ、挙手により賛成多数で可決承認された。

議長は総会の審議を全て終了したので閉会を宣言した。

#### 4. 例会挨拶 佐々木会長

挨拶に先立ちまして



21年5月に入会し会務に精励され、特にホームページ担当として活躍されておりました宮田正美会員が抛無い事情で11月末を以て退会されることとなりましたのでご報告いたします。

はや師走となりました。このところわがクラブは、野外例会、関東中央地区プロバスクラブ交流会、「宇宙の学校」開校式と第1回スクーリング、さらには「いちよう祭り」への協力と、諸行事を実行してきました。

野外例会では、『水』の大切さを改めて認識するとともに、柴又帝釈天、矢切りの渡し、百花園などを巡り、江戸川べりの情緒にも触れることができました。また、宇宙の学校は、順調なスタートを切り、子どもたちや若いお父さん、お母さんたちが、いそいそと集まってくる姿が印象的でした。自分が若かった頃、忙しかったとはいえ、子

育ては家内に任せきりで、あまり子どもと接触しなかったことが反省させられますが、今となっては取り返しができません。

年明け後、「生涯学習サロン」が始まりますが、例年同様、クラブ一同協力して、実りあるものにしていきたいと思ひます。

さて、今年を振り返りますと、何と云っても3月11日の東日本大震災の地震・津波による大災害と、これによる原発の深刻な事故は忘れることが出来ません。それはクラブの例会と学習サロン開催日の翌日の出来事でしたが、その後の活動に少なからぬ影響を受けました。また、世界に目を転じますと、EU諸国の財政・金融の動揺が続き、これが全世界に波及し、先行き楽観を許さぬ状況です。私が「生涯学習サロン」の話し手を務める4月頃には、何とか明るい曙光を見出したいものです。

こうした情勢下で新年を迎えますが、お互いに明るく前向きに、自然体で生きていきたいと思ひます。

## 5. バースデー報告 ・バースデーカード贈呈



会長より11月12月のバースデー報告と池田会員の作成したバースデーカードが各自に贈呈された。

## 6. 幹事報告 永井幹事



①宮田正美会員が退会されました。会員数が70名となりましたので新会員の紹介をお願いいたします。

②ホームページ担当が空席となりましたので候補者がいましたら紹介をお願いいたします。

③立川富美代会員が代表される合唱団のハートフルコンサートでの義援金で、いわきの小学校に電子ピアノを4台寄贈されたことが、読売新聞

に記事として掲載されました。いずれかの機会にご報告をお願いしたいと思います。

④11月はいろいろな行事への参加が多かったですが、皆さんの協力で成果を上げご苦労様でした。これから他のプロバスクラブ等の周年行事が多くありますので協力をお願いいたします。

## 5. 委員会報告

### (1) 例会委員会 有泉例会委員長

出席状況報告（前記のとおり）。

### (2) 情報委員会 馬場委員長

①プロバスだより 193号には下山会員と杉山会員の2つの投稿を掲載いたしました。そのほか野外サロンの記事などをお届けいたしました。

②宮田会員の退会に伴って、武田会員に無理をお願いし、当面プロバスだよりのアップのみをやって頂くことにいたしました。善後策を考慮中でございます。

③12月の理事会に諮り、引用に関する当クラブの見解をまとめました。今回資料配布は理事および情報委員のみとさせていただきます。本件につきましては武田会員にご提言をいただきました。

④投稿記事が現在手持ち6件となりましたので、投稿をお待ちしています。

### (3) 会員委員会 浅川委員長

宮田会員の退会に伴い会員の増強のため新会員の推薦をお願いいたします。

### (4) 研修委員会 特に報告なし

### (5) 地域奉仕委員会 田中委員長

①いちょう祭りでは12名の会員の方にC会場本部に詰めて頂き有難うございました。

②先ほどはサロン予算につきまして承認いただき有難うございました。

③サロン希望テーマ調査票を提出お願い致します。

④一般会員で新しい参加会員を増やしたいと思ひますので該当する方がいましたら住所、氏名を教えて頂きたい。

### (6) 交流担当関係 立川会員

11月15日、全日本プロバス協議会の理事会が神戸で開催され出席しました。内容は①来期より

年会費が、年2,000円から3,000円になる。②来年度の総会を11月13日に神戸で開催する。③現在108ある支部に淡路島が加わり、更に青森でも現在準備中です。

全日本プロバス協議会関東中央地区交流会には8クラブ52名が参加されました。当クラブからも大勢参加され、理事の方にはお手伝いいただき有難うございました。

また、ハートフルコンサートには多くの会員が参加。また義援金もたくさん頂きまして電子ピアノをいわき市の小学校に届けてまいりました。当合唱団には大高、武田、岩島、有泉そして私の5名の団員がいますが、いわき市には武田、大高、私と3名が行って来ました。写真もいっぱい撮って来ましたので是非例会で見ればと思っ  
ています。

昨日は多摩プロバスクラブの忘年会・交流会に吉田副会長他で参加いたしました。多摩プロバスでは交流に力を入れていて、大勢の横浜プロバスクラブの方々と交流されているとのこと。また16日には横須賀プロバスクラブの10周年の行事があるなど、今後いろいろな行事があります。

## 6. 「宇宙の学校」スクーリング報告

### 下山運営本部長

開講式ならびにスクーリングについては前号プロバスだよりに詳しく載っていますので省略いたします。今回お配りいたしました八王子「宇宙の学校」パンフレットは開講式に参加した生徒に配ったプログラムです。次回スクーリングは12月11日です。父兄の方を初め多くの方が見学に来られますようお願いいたします。

### 宇宙の学校報告

吉田 信夫

#### <第2回スクーリング>

平成23年12月11日(日)、第2回スクーリングが教育センターで開催されました。



参加者は73組と第1回スクーリングと全く同じで、90%を超えました。

教室の開講時間

は、午後1時30分から、午後3時30分までの2時間でした。この日のテーマは、「風見鶏を作ろう」と「かさ袋のロケットを飛ばそう」の2つでした。

このスクーリングに先立ち、子ども・宇宙・未来の会 KU-MA の遠藤純夫先生が金環食の話をされ、月が太陽を覆う日食が、平成24年5月21日(月)午前6時19分~7時34分に観察出来ますとの案内がありました。

#### —風見鶏を作ろう—



風見鶏は、風の吹く方向を向く鶏です。風の当たる面積の少ない頭の方が風上に、面積の多い尾の方が風下になります。ロケットの

方向性を定める原理を理解します。

鶏の型紙を切り抜き、直角に曲げたストローを切り抜いた鶏に貼付け、足の方を向いたストローに竹串を通し完成させ、扇風機の前で鶏の頭が風上に尾が風下にくるのを確認しました。

#### —かさ袋のロケットを飛ばそう—



ここでは、ロケットは何故進むのか、真直ぐに進むのには何が一番大事かを知ります。そして、ロケットが真直ぐに飛ぶ事を理解します。

飛ばす事を理解します。

かさ袋に空気を吹き込み膨らまし、袋の先端をセロテープで丸くし、傘袋ロケット本体を作ります。そして、

1. 何もつけずに飛ばす。
2. かさ袋ロケットに4枚の尾翼をつけて飛ばす。
3. かさ袋ロケットの先端にビニールテープを巻き、重りをつけて飛ばす。

子供達は、この3回の実験で、ロケットが飛ぶのに何が必要なのかを学びました。子供達は、保護者の方との間でのかさ袋ロケットの飛ばしあいが楽しかったようです。

飛行機は勿論、ロケットも打ち上げる時は尾翼

が必要ですが、宇宙では空気がありません。尾翼をつけても効果がありません。宇宙では探査機はジャイロと言って姿勢を保つ装置を積んでいます。

この日は、八王子ケーブルテレビが取材に入り、スクーリングの風景を取材しました。この内容は、デジタル 11CH、アナログ 5CH の八王子ケーブルテレビにて、12月14日(水)に放送されました。

学校の運営に当たっては、プロバスクラブの会員が運営委員として活躍、子ども科学館から、教育センターまでの荷物運び、駐車管理、受付、会場の設営と後片付け、テクニカルスタッフとして子供達への指導、スクーリング休憩時の際の宮城安子会員によるリラックス体操指導など、全員が一体となってボランティア活動を務めました。

次回平成 24 年 1 月 15 日(日)の第 3 回スクーリングは、「種を飛ばそう」、「ふわふわスチロール凧」のテーマです。子供達の家庭学習の発表もあります。最後に閉校式を迎えます。会員の皆様にも是非見に来て下さい。KU-MA のホームページ (<http://www.ku-ma.or.jp>) にも宇宙の学校が掲載されていますので見てください。

## 7. 同好会報告

### (1)お茶の会 宮崎浩平会員、阿部治子会員

当お茶の会の阿部先生が所属しています東阿部流主催で、12月27日から来年1月16日まで日本橋高島屋で「萬福寺開創 350 周年記念 隠元禅師と黄檗文化の魅力展」が開催されます。当お茶の会として12月29日に見学に参加します。希望者はご一緒にどうぞ。(招待券あり)

### (2)ゴルフ同好会 なし。

### (3)歴史の会 澤渡 進会員

講演会・忘年会を12月17日(土)にみささ苑で行います。講演者は泉三郎先生です。本日配布した申込書にて申し込みください。

### (4)写真の会 矢島一雄会員

恒例の秋の撮影会を11月30日(水)、秋晴れの下、古都鎌倉の古刹を彩る紅葉を求めて一日を楽しみました。円覚寺、建長寺、そして鶴岡八幡宮を拝礼、昼食(名物ヘルシー海鮮丼)の後、鎌倉駅から江ノ電に乗り長谷駅下車、大仏前で参加者全7名の記念撮影、最後に長谷寺でシャッターを切

り、最寄りの長谷駅前解散としました。

### (5)囲碁の会 なし。

### (6)麻雀クラブ 矢崎安弘会員

今月は13日(火)13時より開催です。

### (7)美術鑑賞の会 池田ときえ会員

お茶の会とドッキングで「黄檗山萬福寺展」を会期中にそれぞれ鑑賞して下さい。黄檗山萬福寺は鎖国時代の日本にとって中国文化の窓口であったそうです。この機会に是非鑑賞して下さい。

### (8)旅行クラブ 渋谷文雄会員

前回の例会で旅行クラブの立上げを報告いたしましたところ早速10数名の申込みがありました。本日、運営委員を決め、今後の活動につき検討いたしますので宜しくお願いいたします。

### (9)俳句の会 河合和郎

本日例会後地下のアンシャンテで会合を行いますのでお集まりください。見学の方もどうぞ。

## 8. その他 なし。

## 9. 卓 話

### 「B級コレクション」の話

野口浩平

小学生のころから切手、古銭などの収集を始めました。昆虫特に蝶ではブータンのシボリアゲハなど幻の蝶にも強い興味を持っています。コレクションと云えるのは凧です。30年ほど前、私のコレクションが新聞に出まして、それを見て西武デパートが展示をしたいので貸してほしいという事で貸出したこともあります。今日はコレクションの中で珍しいものを50点ほど持参しましたので後程解説しご覧にいきます。

凧について少しお話ししたいと思います。

### 凧の起源

南方で木の葉に紐をつけて飛ばした「木の葉」説があります。中国では前196年漢の時代韓信が敵の城塞との距離を測るために飛ばしたとの記録があり、日本では日本書紀に凧が出てきます。

### 凧の地域での呼称

東京、関東ではタコ。



青森県は「はだこ」、宮城県では「てんばた」「いか」、千葉県では「とんび」、群馬県では「たか」、新潟県では「まきいか」、京都・大阪では「いかのぼり」、山口県では「ようず」、長崎県では「はた」「ばらもん」、九州地方では「たかばた」「とうばた」など地域により呼び名が違ってきます。

### 凧の特徴

江戸凧は現在作者がおられません。細い竹で作られており、竹を紙で巻いて補強するのが特徴です。

南部凧および津軽凧は竹の代わりにヒバの木（ヒバ割）使うのが特徴です。

会津唐人凧は紙の補強のため和紙に柿渋汁を塗ります。

浜松凧は絵をロウで塗り、ロウ抜きで凧と呼ばれ、空に上がるとくっきりと絵が映えます。

紙は西の内紙（茨城県山方町西野内で作られた和紙）を使用し、使用する枚数により一畳凧とか呼ばれます。

### 凧で有名な話

石川五右衛門が名古屋城の金の「しゃちほこ」の鱗を盗む話が歌舞伎に出てきます。江戸時代実在した柿木金助という盗賊がモデルになっています。



ご清聴ありがとうございました。

## 10. プロバスソング斉唱

## 11. 閉会の挨拶 吉田副会長



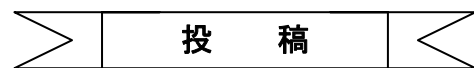
11月には、研修委員会による水資源の野外研修、全国プロバス協議会第1回関東中央地区交流会、宇宙の学校、いちよう祭りとクラブ活動が活況を呈しました。これからは年が明けて地域奉仕委員会担当の生

涯学習サロンの準備が本格的に忙しくなります。全会員のご協力をお願いいたします。

話は変わりますが、3月11日の東日本大震災後、福島原発事故による放射線被ばくが問題になり、今日も続いています。暗い話ばかりですが、その中で少し明るい話題に触れたいと思います。

被ばく線量の目安の基準に6.9ミリシーベルト（mSv）がCT被ばく線量として取り上げられています。この値は、20年程前に開発されたX線CTで、肺を検査する際の被ばく線量です。当時としては画期的な装置で、それ以前のX線CT装置はすべて入れ替わりました。20年経った現在、装置は進歩し、画像は更に緻密になり、被ばく線量も、1~2mSvとなっています。最近では被ばく線量が0.3~0.4mSvの装置も開発されたとのこと。レントゲン撮影と同程度まで下がったこととなります。病気治療のため、X線CT撮影される方には、安心感を持っていただけるのではと思います。

科学の進歩は上手く活用できればいい方向に向かいます。かじ取りを間違えないようにしたいものです。以上で閉会の挨拶とします。



### 「ボランティア考」2

杉山友一

昨年12月発行号に、「ボランティア考」と題して一文を投稿しましたが、今日はその2を書かせていただきました。お付き合い願

えれば幸いです。

さて、私は前回の記事の中で、ボランティアが果たす社会改善のための役割の大きさに触れましたが、ボランティア活動がそれなりの成果を挙げるためには、全てが無償奉仕で事が成るわけではありません。それなりに活動資金が必要となります。そこで、その資金調達の方法ですが、ときには一部公的な補助金等が入手できる場合がありますが、主には団体や法人または個人の善意の寄付に頼ることになります。しかし、実はここに

課題があります。日本社会の場合、欧米の国々との国民性、宗教感などの差異から本来的にドネーションという習慣が根付いていません。往々にして寄付も一つの経済行為と捉えられ損得勘定で押し量られてきました。因みに、アメリカでの善意の社会寄付額は、10年ほど前の数字で恐縮ですが、日本円換算で20数兆円、日本は実にその200分の1程度です。まさしく彼我の開きの大きさに驚かされます。

善意の資金が社会改善に如何に有効かという卑近な例として、例えば、小生はいま八王子防犯協会を束ねる立場にいますが、事業予算面の年間内訳は、行政からの補助金が23%、町会や自治会からの会費収入が27%、そして賛助会員からの善意の協力金が49%となっています。この例からお分かりのように、もし防犯協会に賛助会員制度がなければ、官民一体事業としての犯罪抑止活動は継続不可能でしたし、管内の刑法犯の認知件数を、平成15年から8年連続で減少させるという成果も収められなかったと考えています。

このように、社会活動の展開にはどうしても活動原資となる資金調達や資金開拓が欠かせませんが、この点については、昨年、日経新聞が以下の内容を広く報じてくれました。「近年ようやくわが国でもこうした分野（ファンドレイジングという）の理解者・実践者（ファンドレイザーという）をもっともっと増やし、且つその力量を上げる必要があるとの認識が広まってきた。ファンドレイザーの重要な役割は、対象者に活動の意義を知ってもらい、善意の寄付金を受け取ることだが、その寄付者に満足や喜びを感じてもらえるように、援助する側を感動させるための努力を惜しまないことも重要だ。因みに、アメリカでのファンドレイザーの地位は非常に高い」というものです。

さて、こうした時代の流れを受けて、わが国では、ここに来て、寄付社会の構築に向けて、大きく一步前進させる施策が施行されました。NPO税制の大転換です。NPO税制は従来からあったものの大変使い勝手が悪く、多くの善意の寄付者を受け入れることが出来なかったのです。その実態は、日本のNPO約42,000団体の内、寄付税制の優遇措置を許されていたのは認定NPOと

して僅か200団体程度でした。国が企業の納税資金の一部がNPOに流れることを嫌ったという側面もあります。それが、今回の法律改正では指定活動目的で認可されたNPOが、3,000円×100名（法人・個人）の会員条件が満たされれば、認定NPOとして位置づけられることになりました。この法律改正は、実は、東日本大震災後の復興の担い手として、どれほど民間ボランティア活動が期待されているかの証左でもあります。ともあれ、新法の下で、日本の社会活動は新しい一頁を迎えたということになります。

時あたかも、八王子プロバスクラブが中核となって、八王子「宇宙の学校」プロジェクトが進行中ですが、その組織は、初年度で認定条件のほぼ7割方を消化している現状から、私はいま、こうした時の流れを意識しながら、行政書士でもある武田洋一郎会員のお力を借りながら、八王子「宇宙の学校」後援会の認定NPO化を進めてみたいと考えているところです。ボランティア活動の「夢を形に」の証として、会員諸兄に関心をお寄せ頂けたら幸いです。

## 夏期スクーリング

武田洋一郎



今年も通信教育の夏期スクーリングに参加。日程は8月1日～20日（月曜日～土曜日、午前9時10分～午後5時）、午前／午後各1科目で6科目受講（1科目18時間、毎週土曜日は科目履修

試験(60分))

幸い、今年は本業で煩わされずに済んだので休講せず皆勤できた。全国から参加する幅広い年齢層の学友と勉学の機会を得られることはとても刺激になる。大阪、山形、神奈川ほか毎年数人の友達ができ、メールなどで情報交換している。

さて、今年の成果はというと、4科目合格で単位取得、だが、1科目は提出レポート不合格のため受験無効、もう1科目は試験成績不合格だった。試験は論述式問題なので、高齢になっての記憶力減退の中、年を追うごとに厳しいと感じている。

ところで、「何故、通信教育を？」という疑問に

について、以前、『白門』という大学の教材にインタビュー記事が掲載され、その辺の事情が述べられているのでご紹介したい。

「はくもんトーク」の2005年11月24日付記事から転載（表現形式を一部変更）

**Q1: 中央大学通信学部に入學したきっかけはなんですか。**

2001年に60歳定年で退職しました。地域社会でなにか貢献をと考え、在職中に取得した「行政書士」の資格を生かし、相続やその他の法律相談・手続きなどのお手伝いをしようと事務所を開きました。元は情報処理のシステム技術者で、法律については本格的な勉強をしておらず、たまたま組合の役員になったときに民法、労働法などを勉強したので、40歳代に資格試験を受験、合格しただけのことで、その後は何もしていませんでした。開業後、仕事を進めているうちに、クライアントから様々な法律相談があり、法律の素養がないと申し訳ないと考え、知識を得るために法律学では定評のある中大を選び2003年に入学しました。高齢者なので学位の取得と言うより、むしろ生涯学習のつもりで取り組んでおります。その意味で、あまり模範になる学生ではないのかな、と自覚しております。また、中大は地元・八王子の大学ですので愛着があり、また経済的に負担が少ないというのも入学の契機のかな要因です。

**Q2: 勉学の進み具合はいかがですか。**

本業以外にボランティア活動として、東京八王子プロバスクラブ、八王子フィルハーモニー合唱団の役員、おもちゃ病院のドクターなどに取り組んでおり、当初計画した通りには単位もあまり取得できず、思うようには進んでおりません。勉学に拍車をかけるためには夏季だけではなく、計画的に短期スクーリングの受講が望ましいのですが、自由業とはいえ時間の調整が難しいのが悩みです。

**Q3: スクーリングを受講した感想をお聞かせください。**

やはり 直接、講義を受けることにより、独学

では理解できない行間に含まれる知識・情報を吸収できることは大きな力になります。短期間ですので全てを網羅・把握することはできませんが、物事の考え方、手法がわかり独学の一助になります。また、教室で若い方々と一緒に勉学し会話を楽しむことができることも、受講の理由の一つです。実際のところ、夏季スクーリング受講で刺激を受け、ともすれば落ち込みそうになる意欲が再び湧いてくるということを毎年繰り返しています。

**Q4: 支部入会のきっかけはなんですか。**

同じ目的の仲間がいると、励みになると思い入会しました。主に日曜日に講義が開催されるので本業やボランティア活動との兼ね合いから、なかなか時間が取れませんが、じっくりと対話に近い形で講義を受けることが出来ますので、これからもできるだけ参加しようと考えております。支部役員の皆様のご努力には敬意を表しております。（注：支部とは、全国にある学生主体で運営される学習・交流目的のために設立された組織。ここでは八王子支部を指す。）

**Q5: 通教の学問に向けてのメッセージをお願いします。**

通教生はいろいろな立場の、幅広い年齢層の方々がおられるわけで、しかも独学という環境の中での勉学ですから、よほど信念がないと先に進みません。毎月届く「白門」は、先生方による法律の解釈や話題等々が提供されており、副読本として中身が濃くとても参考になります。また、「はくもんトーク」を読みながら、皆さんの勉学の取り組み方や苦労話を知り、自分の励みにもなっています。是非とも通教生の交流の場として皆さんも積極的にお出でになってはいかがでしょうか。「HAKUMON BroadBand」もコンテンツが充実してきており、参考になります。オンデマンド授業も全てではありませんが視聴できますので、このインターネット時代に活用しない手はないですね。

**Q6: 将来の目標についてお話していただけますか。**

年齢的には右肩下がりの段階ですが、規定単位の修得に向けてマイペースでこつこつと進めてゆきたいと思います。正科生としての在籍期間に



子プロバスクラブ、八王子フィルハーモニー合唱団の役員、おもちゃ病院のドクターなどに取り組んでおり、当初計画した通りには単位もあまり取得できず、思うようには進んでおりません。勉学に

限りがありますが、生涯学習の場として、脳が活性化している限り聴講生としても、続けて行けたらよいと考えております。世に様々な種類の通信教育がありますが、これからの、高齢化社会における専門的な生涯学習の場として、権威のある大学の通信教育ほど適切なものはありません。学位取得が目的ではない、もう少し自由なコースを併設すれば、受講する人も増えるのではないかと思います。

## 隠元禅師騎獅像開眼法要献茶式に参加して

### 阿部治子



平成 23 年 5 月 21 日黄檗宗大本山萬福寺開創 350 周年記念慶讃事業の一環として宗祖隠元禅師騎獅像開眼法要が行われました。

名誉なことに私が所属し勉強させて頂いている「財団法人煎茶道」東阿部流が献茶を担当させて頂きました。

東阿部流が献茶を担当させて頂きました。

五月の空に薫風が吹き黄檗の森からは鶯の声 冴え渡り良き日に恵まれました。大雄賓殿では隠元禅師騎獅像の除幕式が御家元ご子息様によって行われ、萬福寺中庭には敷台が設けられ、御家元をはじめとして京都支部・大阪支部の方々によって厳かの中にも厳肅に静々と献茶式が行われ隠元禅師騎獅像に恭しく供えられました。各支部からも大勢の先生方が出席され盛大に執り行われました。

「隠元豆の隠元さん」と多くの人からは慕われていますように目元お優しく穏やかですが、その堂々たる風貌には圧倒されました。

私も開創 350 周年記念事業に東阿部流が執り行われた除幕式、献茶式、青森藤田記念庭園茶会、東京ホテルニューオータニ、名古屋八勝館、九州国立博物館と各地における慶讃茶会に参加できましたこと、煎茶人として生涯の宝物になりました。

ここで煎茶の歴史についてお話しします。中国の文人達による煎茶の喫茶趣味は明代に盛んで

したが日本に影響を与えたのは江戸時代に入ってからです。1654 年に来朝した黄檗宗の中国僧・隠元禅師により芸術、建築、食材など多くの中国文化が日本にもたらされました。煎茶の風習もその一つで、当時千利休以来、抹茶が広く行われていましたが禅師来日以降、文人趣味による煎茶が流行し、煎茶を喫しながら詩、書、画を行う風習が出て多くの中国文化が日本へもたらされ、黄檗文化として発展しました。

今日の煎茶道の祖とされるのは売茶翁・高遊外（1675～1763）です。彼も黄檗僧として人生を送りましたが、60 才を過ぎるころ、「通仙亭」を設け、また茶具を担い、京都の名勝各地にて茶店を開き、売茶生活に入ります。彼の茶店には「茶銭は黄金百鎰より半文銭まではくれ次第。ただ飲みも勝手、ただよりはまけもうさず候」と掲げたように、商売としての行いではなく、真の禅のありかた、人としてどうあるべきかといった哲理を煎茶を通じて客に示し、多くの文人墨客と交流しました。池大雅、大典顕常、伊藤若仲、木村兼葭堂など多くの方々と交流し強い影響を与えました。煎茶の基礎を作りました高遊外（売茶翁）の死後も青木木米、田能村竹田、頼山陽、富岡鉄斎など煎茶精神は受け継がれ、幕末から明治にかけて隆盛を極めました。

堅苦しい決まりはなく、広めの外光を取り入れ、解放された空間の中、俗の世界から離れ、詩、書、画を楽しみ伝統的な学問や哲学に精通し読書を通じ知識や教養を身に付け、文人達が育んだ煎茶精神です。

東阿部流は文人の一人、阿部縑州という煎茶家の流れをくんだ、稲生雪松を流祖とし現在五世御家元土居雪松を中心に全国 3000 人を有する門弟と共に「感謝」「奉仕」「互護」「反省」を流是として伝承する重要性、発展と普及に務めています。私も評議員・全国指導講師として、活動にとめたいと願っています。

編集後記：あけましておめでとうございます。

今年は良い年でありますように！

今年もどしどし投稿をお願い致します。

八木啓充